



二本松市立小浜小学校 学校だより

# 希望のひろば

平成31年2月15日(金)

第40号

## 委員会活動を振り返って



14日に、今年度の委員会活動を振り返って、代表委員会と児童会委員会が開かれました。

本校の児童会の委員会は、運営委員会、運動委員会、図書委員会、放送委員会、環境委員会、保健委員会の6つの委員会があり、4～6年生までの児童全員が、いずれかの委員会に入って活動しています。それぞれの委員会が、自分たちでよりよい学校生活をつくるためにどのような活動をするかよいのかを考えながら活動をしています。代表委員会は、各委員会の代表者2名から構成されていて、学校全体のことを話し合いながらそれぞれの委員会の活動をつないでいます。

今回は、今年度の活動の反省と来年度に向けて課題などを話し合いました。話し合いでは、6年生の思いの詰まった意見がだされていました。話し合いの後は、来週21日に行う委員会活動報告会での発表に向けた役割分担や練習を行いました。

3月が近づき、児童会の活動の中心も6年生から5年生へとバトンがわたされていきます。報告会では、来年度新たに児童会活動に参加する3年生も見学に来ます。1年間のまとめとなるすばらしい報告会になることを期待しています。

今週は、裏面もご覧ください。

# 小浜城の歴史に

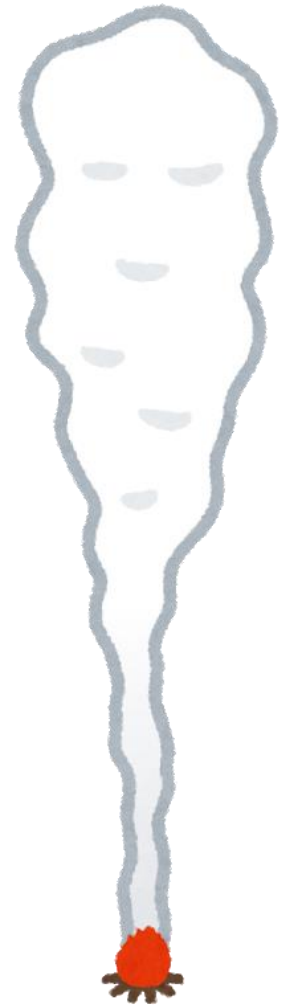
総合的な学習の時間などでお世話になっている「岩代小浜の歴史と文化を護る会」の方から、2月17日（日）の午前10時から正午の間に、小浜城と宮森城で「のろし」をあげますという案内をいただきましたのでご紹介します。

本校のすぐ近くにある小浜城は、1471年（今からおよそ550年前）に建てられたといわれています。小浜城は山城ですので、本校もおそらく小浜城の敷地の中にあると考えられます。この時代は、戦国時代と呼ばれ、各地の大名が自分の領土を広げるためにしばしば戦をおこしていた時代です。

このころは、もちろん今のように電話やメールのように速やかに離れたところと連絡をとる通信手段がありませんでした。そこで、敵が攻めてきたことを知らせたり、何かの合図を送ったりするときには、火をたいて煙を高くあげることで知らせていました。この煙が「のろし」です。

城から上がる「のろし」を見て、戦国時代に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

ちなみに、「のろし」は、漢字で「狼煙」や「烽火」と書きます。「狼（おおかみ）」の字を使うのは、煙がよく出るように、中国ではおおかみのふんを燃やしていたからとも言われています。岩代地区にも、昔はおおかみが住んでいました。小浜城や宮森城でも、のろしをあげるときに、昔はおおかみのふんを燃やしていたかもしれませんね。



このオオカミは、明治時代に岩代で捕らえられたものです。

〔国立科学博物館に展示されているニッポンオオカミのはく製〕